

岩手・宮城県際ネットワーク

— 平成 29 年 12 月 1 日発行 — (担当公所：岩手県沿岸広域振興局) (第 152 号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター ◆◆◆◆

気仙の味伝承会(大船渡地区)が開催されました！

10月18日(水)、大船渡合同庁舎にて、「気仙の味伝承会」が開催されました。

この会は、食の匠から味と技を伝授し、気仙地域の食文化を担う伝承者の育成を図るために実施しているものです。

今回は、郷土料理の伝承に意欲がある市内在住者17名が参加し、食の匠2名の指導のもと「たこめし」「ごまゆべし」「きみまんじゅう」の3品を作りました。

たこめしとごまゆべしを指導した日頃市町の佐藤ミキ子さんは、ごまゆべしについて、すりごまの他に練りごまを使うことで照りが出て、見た目や食感がさらに良くなることや、生地に新米を使った場合の水の量に注意することが話されました。佐藤さんが特製の木の型を使用しゆべしの形をきれいに整えると、参加者からは感嘆の声が上がりました。

きみまんじゅうの作り方について指導したのは、同じく日頃市町の佐藤紀子さん。

生地をこねるときにシロップを手につけな

がら行くと手に付きにくいといったコツを紹介しました。また、参加者の皆さんは普段あんを包む行程に苦勞しているようで、上手に包む様子を熱心に見て学んでいました。

この「気仙の味伝承会」は、11月に住田町で開催し、12月には陸前高田市でも開催予定で、今後も気仙ならではの食文化を継承していきます。



■問い合わせ先

岩手県沿岸広域振興局
大船渡農業改良普及センター
電話：0192-27-9918

だいしゅうかくさい
道の駅平泉 大秋穫祭 2017 が開催されました！

11月11日（土）・12日（日）、平泉町の道の駅平泉で「道の駅平泉 大秋穫祭（だいしゅうかくさい）2017～平泉からいわて県南の魅力発信～」が開催されました。

（主催：岩手県県南広域振興局、共催：世界遺産連携推進実行委員会）



様々な岩手県南の旬な味覚が集まった中、何といても目玉は、今シーズンに登場した岩手県最高級品種のお米「金色の風（こんじきのかぜ）」です。

「金色の風」は、岩手県が全国最高水準の食味を目指し、10年がかりで開発したオリジナル品種です。栽培地域も県内陸南部を代表する米どころ、奥州市、一関市、金ケ崎町、平泉町の4市町に限定されています。

ふわりと軽い食感に豊かな甘み、軟らかさと粘りの絶妙なバランスが特徴です。

会場では「金色の風」の試食や「金色の風に合う特別メニュー」の調理実演とお振舞、レストランでの特別メニューの提供などが行われ、存分に「金色の風」を味わい尽くせる内容でした。

道の駅平泉ほか、岩手県内の各量販店で販売しています。お立ち寄りの際は、是非お買い求めください。



イベントでは、世界遺産平泉 PR キャラクター「ケロ平（ひら）」、岩手のご当地ヒーロー「鉄神ガンライザー」との握手会・撮影会、紙芝居「みんななかよしひらいずみ」の上映があり、親子連れも多く訪れていました。



■道の駅平泉

〒029-4102

岩手県西磐井郡平泉町平泉字伽羅楽 112-2

電話：0191-48-4795

■問い合わせ先

岩手県 県南広域振興局 経営企画部

電話：0197-22-2843

地域づくり団体協議会栗原支部の活動をご紹介します！

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部では、「活動拝見！地域づくり見学会」と題して、各会員団体を訪問し、活動の内容を視察する活動を平成27年10月から継続して行っています。

平成29年度の第2回目となる10月8日の見学会では、「花山・湖秋まつり実行委員会」が主催する「花山湖秋まつり」に参加しました。

「花山湖秋まつり」は、自然豊かな花山湖の湖畔でおいしい焼き肉やまいたけ汁を楽しむお祭りです。お祭り当日は、栗原の特産品販売や子ども達を対象とした岩魚の掴み取りも行われました。

このお祭りは、毎年多くの行楽客を迎える栗原を代表するイベントとなっています。特に、今年は30回目を迎える節目の年ということもあり、例年より200枚も多く販売された前売り券に加え、当日券も完売するほど、大勢の行楽客で賑わいました。

見学会では、花山・湖秋まつり実行委員会の佐藤治会長から、お祭りの概要や実行委員会の活動の様子を紹介いただき、見学会参加者はこれまでのご苦労や地域一体となった地域づくり活動に感銘を受けるとともに、いきいきと活動している様子に刺激を受けていました。



(活動状況を紹介する佐藤会長・写真中央)

また、栗原支部では支部の活性化を図ることを目的に、会員が行うイベントなどの開催経費を助成し、活動を支援する「地域づくり活動支援事業」を昨年度から実施しています。

そのうち、平成29年10月21日に開催された「くりはらマルシェ」の様子を紹介します。

※「くりはらマルシェ」は、栗原を中心に活躍している様々な作り手さんが集い、開催するマルシェ（市場）です。
第3回目の今年のマルシェは、「珈琲とパンとお菓子」をテーマに7店舗が出店しました。

【くりはらマルシェ実行委員会寄稿】

今回のマルシェは、栗原市図書館まつりとのコラボ開催し、Café&booksをテーマに実施しました。来ていただいたお客様は、本を読みながら片手にコーヒーを持ち、マルシェの雰囲気を楽しんでおられました。

また、女性のお客様が多く会場も華やかで、出店した若い作り手さん達もお客様との会話を楽しんでいました。（高橋佑介代表）



(お客様と交流する出展者の様子)

栗原支部では、これからも魅力ある地域づくりに向け、活動を継続して行きます。

■問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部事務局

(宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班内)

電話：0228-22-2195

登米市PR動画がパワーアップして帰ってきた！「登米無双2」完成！！

登米市のイメージを視覚化し効果的に魅力や価値を発信するため、昨年のPR動画「Go!Hatto 登米無双」(※)に続く動画・第2弾「登米無双2」が完成し、11月7日から公開されています。

※国際短編映画祭：第6回観光映像大賞(観光庁長官賞)受賞

「登米無双2」は、第1弾との連続性を意識したストーリーとしつつ、登米市シティプロモーションキャッチコピー「うまし、たくまし、登米市」に込められた、登米市の「食の恵みと豊かさ」、「地域の繋がり」や「たくましく生きる活力」、そして、登米市の「生活感」を知っていただける内容となっております。

▼「登米無双2」ポスター

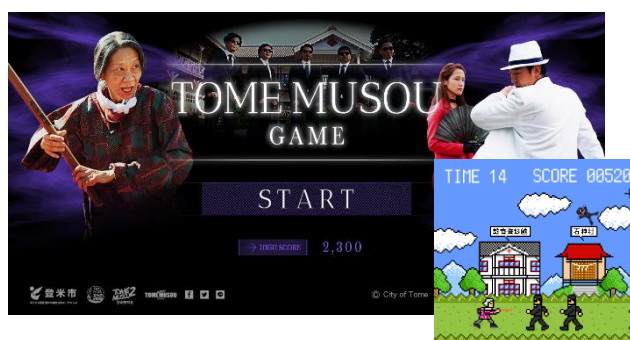


撮影は、前作同様、登米市内で行われ、“うまい”食を育む平坦肥沃な登米耕土や、“たくまし”く地域をつないできた登米市民の精神が描かれています。



続編は、トメに倒されたボスが復讐しにやってきましたことから始まります。真のボスと、トメに弟子入りした「サチ」が新たに登場。市民とともに登米市を守るため、“登米無双”がトメとサチによって再び蘇り、さらにパワーアップしたバトルで、豪快なアクションを繰り広げます。

動画公開と同時に「登米無双」体験企画がスタート。WEBで「登米無双」を疑似体験できるアクションゲームをプレイすることができます。難易度は超難関となっており、次々に現れる敵を制限時間内で倒し、スコア810(はっと)点を目指すゲームとなっております。



動画やゲームを御覧になって、登米市の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

■動画公開先

登米市シティプロモーションWEBサイト

<https://tome-pr.jp/>

■問い合わせ先

登米市企画部企画政策課

電話：0220-23-7331

地域コミュニティ再生・活性化の取り組み

■子ども見守り活動「あさがおグリーン作戦」

気仙沼市唐桑町只越地区の「只越地区子ども会」では、民間事業所と連携して「あさがおグリーン作戦」と題した活動を行っています。この取り組みは、あさがおを育てる活動を通して、子どもたちと事業所の方々との交流を深め、いざというときに子どもたちが助けを求めやすい関係を築くことを目的としています。



事業所は三陸自動車道の道路工事のため、只越地区に事務所を構えている中で、地域とのつながりを持ちたいという想いと、子ども会の地区内に防犯拠点があればという想いが重なり、「子ども110番」として今年5月から活動を行っています。

子どもたちは通学の途中に事業所を寄り、あさがおの水やりなどの世話をしながら、事業所の方々と交流を深めてきました。8月にたくさんのあさがおが咲き誇り、10月16日には子どもたちが枯れたあさがおから「種取り」をしました。来年の種まきで使う分と、今までお世話になった方にプレゼントする分とに保管しておくそうです。



なお、事業所は道路工事が終了する来年3月末には閉鎖される予定ですが、子ども会では来年度以降もあさがおを通じた活動を続けていく方向で検討しているとのことでした。



■問い合わせ先

宮城県気仙沼地方振興事務所
地方振興部 商工・振興班
電話：0226-24-2593

イベント情報など

◆◆◆◆岩手県沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◆◆◆◆
平成 29 年度大船渡新春四大マラソン大会

平成 30 年 1 月 8 日（月・祝）、大船渡市内において、大船渡新春四大マラソン大会が開催されます。毎年市内外から多くのランナーが参加し、復興に歩みを進める大船渡のまちを駆け抜けます。

■開催日

平成 30 年 1 月 8 日（月・祝）

■種目・スタート時刻

・10 マイルロードレース・10 キロロードレース

一般男子 午前 9 時
高校男子・女子 午前 9 時 5 分

・岩手県南地区駅伝競走大会

一般女子 午前 9 時 10 分
高校女子 午前 10 時 15 分
一般男子 午前 10 時 25 分

・岩手県南地区中学校対抗駅伝競走大会

女子 午前 9 時 10 分
男子 午前 10 時 15 分

■コース

大船渡市民体育館前をスタート・ゴールとする市内公認マラソンコース

■問い合わせ先

大船渡新春四大マラソン大会実行委員会事務局（一般社団法人 大船渡市体育協会内）
電話：0192-27-1001

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆

日本最大新春餅つき大会

歩行者天国となる一関大町通りで、40 基以上の臼と杵による餅つきを一斉に行い、初売りに訪れた方に無料で振る舞います。

一関大初売りの目玉イベントです。

■開催日

平成 30 年 1 月 2 日（火）

■場所

一関大町通り

■時間

午後 12 時から

■問い合わせ先

一関銀座会

電話：0191-23-3012

（参考）一関市のもちイベント

2 月 全国わんこもち大会

5 月 もちバイキング（花と泉の公園）

8 月 日本一のもちつき大会
（花泉夏まつり）

11 月 全国ご当地もちサミット in 一関



◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆

はつかやさい
毛越寺二十日夜祭

厄年の老若男女がたいまつを先頭に常行堂まで練り歩き、宝前に大根や白菜などの供物をささげて、無病息災、家内安全を祈願する献膳上り行列が行われます。

最後に堂内では法楽として延年の舞が夜半まで奉納されます。



■開催日

平成 30 年 1 月 20 日（土）

■場所

毛越寺

■時間

午後 3 時 献膳式
午後 4 時 常行三昧供
午後 6 時 後夜作法
午後 7 時 30 分 献膳行列 駅前出発
午後 7 時 40 分 大護摩供
午後 8 時 献膳行列 山門到着
午後 9 時 延年の舞奉納
午前 0 時頃 舞終了

■問い合わせ先

毛越寺
電話：0191-46-2331

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所

栗原地域事務所 ◆◆◆◆

伊豆沼・内沼自然体験講座

「ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会」

ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼で、ガンの飛び立ち観察会が開催されます。

伊豆沼・内沼で越冬する数万羽のマガンは、早朝に飛び立ち、えさを求めて周辺の水田に向かいます。この観察会では、朝日を受けて一斉にマガンが飛び立っていく、美しく、雄大な光景を見ることができます。また、沼のほとりで暮らす鳥たちを観察する探鳥会も行います。

観察会のあとは、宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター内のレストラン「四季味」で栗原の食材を生かしたおいしい朝食をいただきます。

マガンが飛び立つ時の羽音と鳴き声は、荘厳で迫力満点です。感動の瞬間を、ぜひご覧ください。



■日時

平成 30 年 1 月 13 日（土）
午前 6 時～午前 10 時

■対象・定員

小学生以上（小学生は保護者とご一緒に）
先着 20 名

■参加費

1,000 円（朝食・保険料等）

■場所・問い合わせ先

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
電話：0228-33-2216

E-mail：izunuma@circus.ocn.ne.jp

HP：<http://izumuma.org/>

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◆◆◆◆
はっとフェスティバル

「はっと」とは、登米地域の郷土料理で、小麦粉を練った生地を茹で、様々な味付けで食べるものです。特に、「はっと汁」は寒い季節にぴったりです。

「第14回日本一はっとフェスティバル」では、王道のしょうゆ味、あずき味などの甘味、海鮮味など30種類以上の「はっと」を一杯300円で堪能することができ、来場者による投票で「はっと大賞」が決定します。

また、会場でははっと踊りや太鼓の演奏などのステージイベントも開催されます。

自分好みの味を食べるもよし、新たな味に挑戦するもよし、ホッとする「はっと」で心も体も温めてみてはいかがでしょうか。



■日時

平成29年12月3日（日）
午前10時～午後2時

■場所

登米市迫町中江中央公園

■問い合わせ先

はっとフェスティバル実行委員会
（一社）登米市観光物産協会
電話：0220-52-4648
登米市産業経済部商業観光課内
電話：0220-34-2734

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼地方振興事務所 ◆◆◆◆
あわびまつりが開催されます

気仙沼市の道の駅「大谷海岸」駐車場で、12月16日（土）、「あわびまつり」が開催されます。

あわびまつりでは、お刺身で味わうことができるほど新鮮な活あわびが格安で販売されます。あわびの他にも、ホタテなど地元の海産物、加工品や新鮮野菜なども販売されます。また、豚汁も振る舞われる予定です。

冬の海の幸「あわび」をゲットしに、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



■日時

平成29年12月16日（土）午前9時から
※あわびは無くなり次第終了します。早い段階で売り切れてしまう場合もありますのでご了承ください。

■場所

道の駅「大谷海岸」駐車場
（気仙沼市本吉町三島94-12）

■問い合わせ先

株式会社本吉町産業振興公社
電話：0226-44-3180

◆◆◆◆宮城県気仙沼地方振興事務所◆◆◆◆
志津川湾おすばでまつり福興市が開催されます

南三陸町の志津川仮設魚市場特設会場で、12月29日（金）、「志津川湾おすばでまつり福興市」が開催されます。震災前から年の瀬の一大イベントとして定着していた志津川湾おすばでまつりが、昨年同様、福興市と合わせて開催されます。

当日は地元名産の海産物や農産品を中心とした物産テント、飲食ブースが立ち並び元気にお祭りを開催します。「おすばで」とは地元の言葉で「酒の肴」を表す言葉です。

ぜひ、南三陸町の美味しい「おすばで」と新鮮な正月用食材をお買い物しに足を運んでみてはいかがでしょうか。



■日時

平成 29 年 12 月 29 日（金）
午前 8 時 30 分～午後 1 時 30 分まで

■場所

志津川仮設魚市場特設会場
（本吉群南三陸町志津川旭ヶ浦 8）

■問い合わせ先

南三陸福興市実行委員会事務局
電話：090-7077-2550